

私の動物紹介

チンパンジーのター坊

担当: 柚原和敏

ター坊は現在37才。チンパンジーの寿命は50才前後ですから、人間にたとえると定年退職をむかえる頃で、白髪のめだつ年齢です。

チンパンジーは知能が高く、ター坊も5才くらいまで係員が教えるといういろいろなことを覚えました。冬には帯広の土地柄、スケートにも挑戦しました。昭和41年には帯広で開催された全日本学生氷上選手権のデモンストレーションでスケートを披露して『帯広にター坊あり』と一躍脚光を浴び、何もない時代に市民に話題を提供してくれました。

若いころには動物園で一番の暴れん坊で、担当者以外の係員が清掃に入ると「何しに来た」とせまいオリの中で暴れまわり、係員はただ茫然と見ているだけで仕事が全くできないこともしばしばありました。

最近では年齢のせいも、長く一緒に暮らしていたメスのマリを亡くしたせいか、すっかり柔和な性格になり、仕事はスムーズにこなせるのですが、どこかものたりないさびしさを感じます。 FIGHT!!

ホッキョクグマ

担当: 船見政敏

僕は今年の4月からホッキョクグマの担当になりました。

彼女の名前はサツキちゃん。1991年11月14日生まれの7才です。彼女は、アメリカのクリーブランド生まれらしく顔はキュートでとってもグラマラスな彼女です。でも、かわいい顔をしているわりには、とても狂暴で力もものすごく強く、うちの動物園の中で1、2を争うのではないかと思うほどです。

食事は一日一回で、週に2度あたらない日があります。肉や魚・リンゴなどを与えています。エサを与えるために寝室に一度閉じ込めるのですが、なかなか入ってくれず、デッキブラシや松葉かきをネコじゃらしのようにして中にみちびくのですが、油断したすきに二度ほどとられてしまいました。彼女は物をつかむと絶対にはなしません。水をかけると普段は嫌がって逃げるのですが、その時は、水をかけても何をしていてもダメでした。

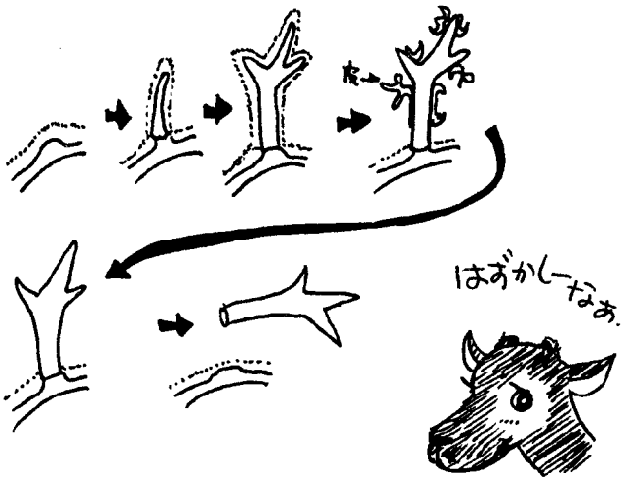
そんな彼女ですが、僕には常に熱い視線を送ってくれるのでうれしく思います。一日も早く、僕よりも良いお婿さんが来てくれるといいのですが……。

チェックポイント

秋は、多くの動物たちの姿が立派になる季節です。

★シカ類は、春から少しずつ大きくなった角の表面の皮がやぶれてきます。かゆいのか、フェンスにこすったり、角どうしにつきあったりします。そうして白い角になるのです。しかし、危険なため切り落としてしまいますが……。

★北国にすむ動物たちは、寒い冬にそなえて肉付きが良くなり、長くふさふさとした毛へと変わっていきます。



わがわがマニア

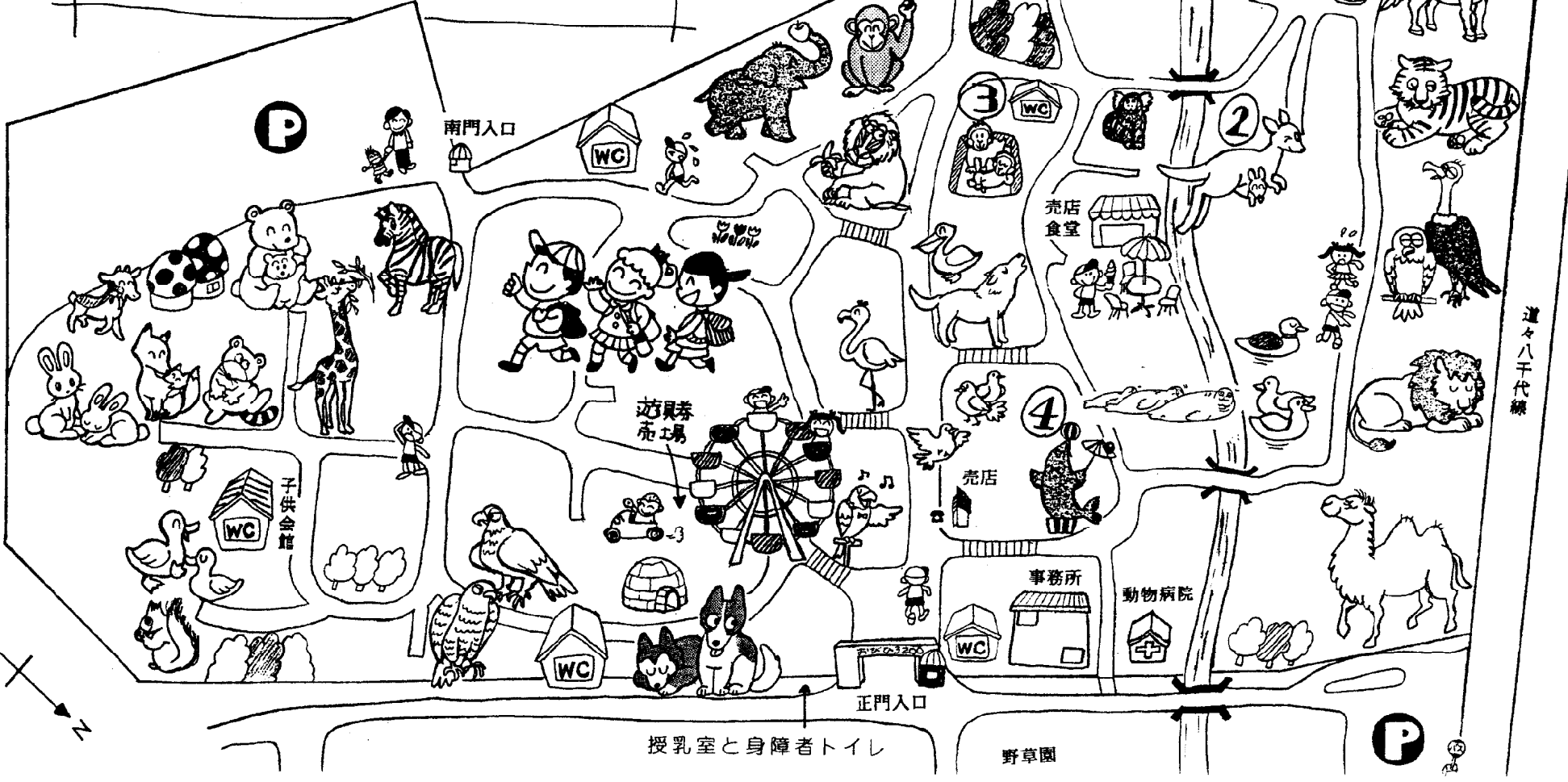
おとしのこと

- ① バイソン (5/15)
- ② カンガルー (1月・2月)
- ③ ニホンザル (7月・8月)
- ④ アシカ (5/9)

見に来てネ。

ふれあいコーナー

★ 日・祝日の
13:15 ~ 14:30
※ 10/17からは
11:00 ~ 正午に
なります。



道々八千代線

授乳室と身障者トイレ

野草園